授業科目名・形態	家族看護論　　講義	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	渡邉　知子	実務経験の有無	有	開講期	３年前期
科目ナンバリング	N4-3012npmht				

【授業の主題】

看護援助の対象となる患者とその家族員が家族集団としての健康を保つために必要な看護援助を提供するために必要な知識として、基本的な家族の機能、家族看護のための看護理論、家族看護過程、社会状況や多様な価値観に影響をうける家族について学ぶ。

【到達目標】

１．看護援助の対象としての家族を理解するために家族の機能を説明することができる。
２．家族看護の提供を理解するための看護理論を説明することができる。
３．家族看護を提供するためにグループワークにより家族看護過程を展開することができる。

【授業計画・内容】

第１回　家族看護
第２回　家族看護の対象と理解
第３回　家族看護を実践するための理論と技術
第４回　家族看護過程と看護援助
第５回　グループワーク（看護過程の展開）：討議
第６回　グループワーク（看護過程の展開）：討議とプレゼンテーションの準備
第７回　プレゼンテーション
第８回　現代の多様な家族への看護

【授業実施方法】　授業は講義と演習、プレゼンテーションなどで構成します。グループディスカッション等を行い発表やリアクションペーパー等で他学生と異なる考えや価値観の共有を行った上で学びの振り返りを行います。

【授業準備】授業ごとに指示します。既習の各領域看護方法論の学習内容を再度確認し参加してください。講義内容に関する自主学習（事前学習・復習）を計４時間以上行ってください。

【主な関連する科目】　小児看護方法論Ⅰ・Ⅱ、母性看護方法論Ⅰ・Ⅱ、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ、精神看護方法論Ⅰ・Ⅱ、地域・在宅看護論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】　上別府圭子 他著：系統別看護学講座別巻　家族看護学第２版　医学書院

【参考文献】

中野綾美・瓜生浩子：家族看護学　家族のエンパワーメントを支えるケア　MCメディカ出版
鈴木和子・渡辺裕子：家族看護学　理論と実践　第５版　日本看護協会出版会　　その他、講義中にも紹介します。

【成績評価方法】

筆記試験（60%）、グループワーク・発表（20%）、態度等（20%）で総合的に評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】　医療機関で入院治療を受ける患者の家族を対象とした退院時の援助、および、地域における自助グループと家族会に参加し、当事者と家族が遭遇する困難への支援を行ってきました。患者（当事者）と家族員を１つの対象とした看護援助を考えるための機会を提供します。

【学生へのメッセージ】　家族は患者様が健康障害や生活障害を改善・軽減するための重要な資源ですが、看護の対象としての家族にも着目し、家族全体の健康と生活への支援の必要性を考えてください。また、現代の多様な価値観に基づいた様々な家族形態が存在することについても知見を広めてください。